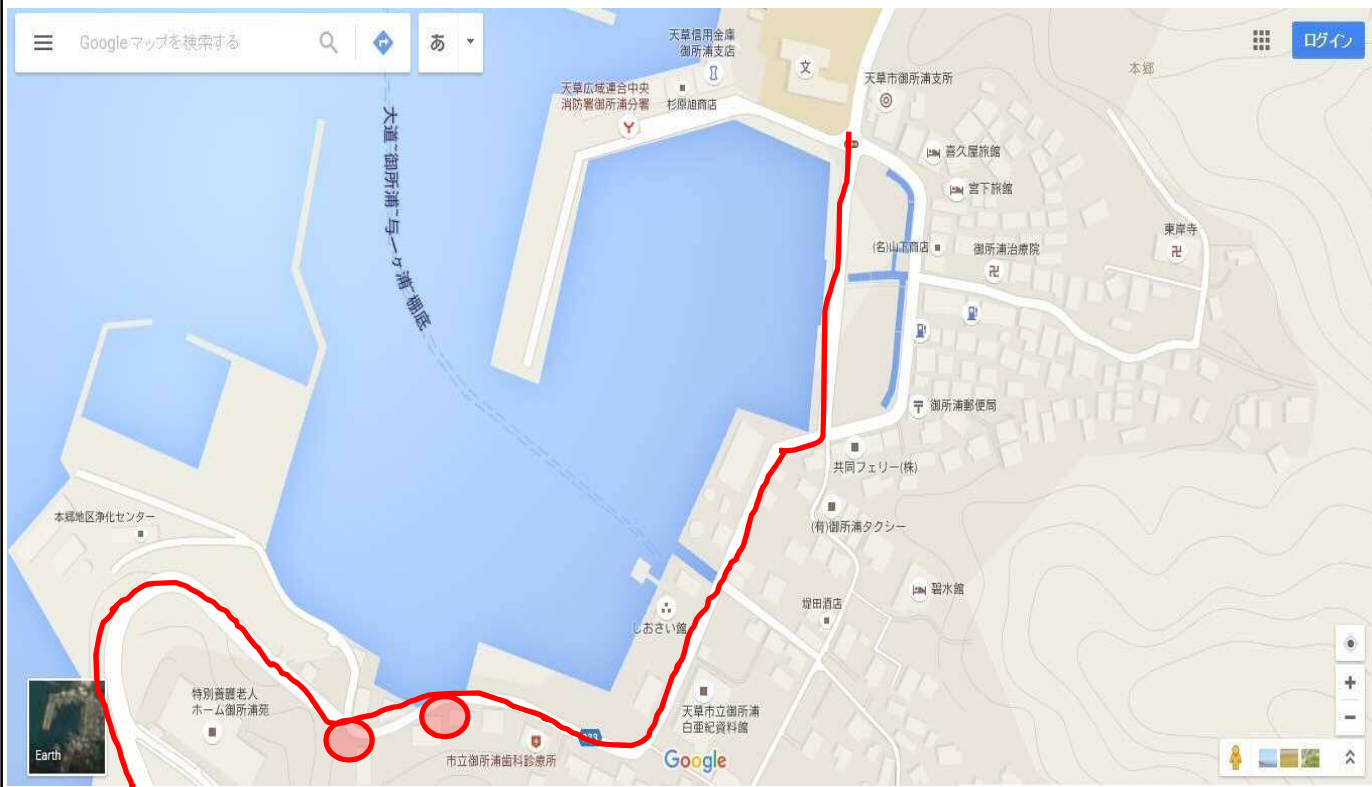


平成28年度 通学路安全対策要望調書(箇所別)

御所浦小学校

平成28年7月8日作成

1	御所浦町御所浦4375-2 御食事処「松苑」前	<p>道幅がかなり狭い上に、大きくカーブしていて対向車に気づきにくい。更に、東側の「アクアマリンまつなが」前の三叉路においては、急な坂を下りきった地点で道が交わっており、衝突の危険がある上に、そこが段差になっており、自転車に乗っている子どもが転倒することが多い。</p> <p>カーブミラーはあるが、それだけでは安全対策が万全とは言えない。例えば、路面に注意を促すような塗装を施したり、スピードを落とさざるを得ないように凹凸施工したりするなどの安全対策を加える必要がある。</p>	道路 警察 学校 地域	龍ヶ岳御所浦線県道333号
---	----------------------------	--	-------------	---------------



平成28年度 通学路安全対策要望調書(箇所別)

御所浦小学校

平成28年7月8日作成

<p>2</p>	<p>元浦漁港から北へ300mほど北の県道。道幅が急に狭くなる上に、ほぼ直角に大きくカーブしている地点。その曲がり角に地蔵があることから、以前死亡事故があったのではないかと考えられる。</p>	<p>学校からその地点に行く場合、まっすぐな2車線道路から急に狭いカーブに入る形になる。スピードを緩めずにそこへ進入する自動車も多く、極めて危険である。カーブミラーと道幅が狭くなることを知らせる標識はあるものの、実際に自動車を運転してみると、思った以上にカーブが大きく、危険性を感じる。反対側から子どもが自転車等で走行してきた場合、避けきれない事も考えられる。 道幅が狭くなる標識と併せて、大きくカーブしているなど危険度が高いことを運転者に知らせる手立てが必要である。例えば、カーブがかなり大きいことをしっかり伝えられるような標識の設置、最徐行する必要性を知らせる路面塗装などの対策は不可欠であると考える。</p>	<p>道路 警察 学校 地域</p>	<p>龍ヶ岳御所浦線県道333号</p>
				
<p>○ : 対策要望箇所      - - - - - : 通学路(学校指定)</p>				